

中津市民病院化学療法プロトコール

【レジメンNo】H-36

申請日	承認日	委員長	印
レジメン登録日 (見直し 2020/3/16)	仮承認日	承認者	印

DRd(DLd)(3~6コース目)療法	病名	多発性骨髄腫	血液内科	医師名
---------------------	----	--------	------	-----

対象 前治療歴を有する再発又は難治性の多発性骨髄腫

薬剤商品名 (カタカナ)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)															
			1	5	10	15	20	25	30									
ダラザレックス(ダラツムマブ)	16mg/kg	div	○				○											
レブラミド(レナリドミド)	15~25mg/Body	p.o	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デキサート(デキサメタゾン)注	20mg/Body	div	○				○											
デカドロン(デキサメタゾン)錠	20mg/Body	p.o	○				○											
デカドロン(デキサメタゾン)錠	40mg/Body	p.o				○									○			

投与間隔・休薬期間等: 28日=1コース
4コースまで
ダラザレックスは2週に1回投与、レブラミドは21日間連続投与、7日間休薬を1コースとする
デキサメタゾンは、週に40mg/body投与

← 1コース →

【投与処方例(前投薬など)】※0.22ミクロン以下のインラインフィルターを使用

初回(2コース目までにインフュージョンリアクションにより

投与速度を上げることができていない症例)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液1000mL+ダラザレックス /div (※)

2回目以降(初回投与開始～3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合)

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤-1】生理食塩液50mL+デキサート注20mg /div 15分
- ③ メイン【赤-2】アセリオ注1000mg /div 15分(650mgまで減量可)
- ④ メイン【赤-3】生理食塩液100mL /div 30分
- ⑤ メイン【赤-4】生理食塩液500mL+ダラザレックス /div (※)

※ダラザレックスの速度

初回	生理食塩液1000mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
2回目	初回投与開始から3時間以内にインフュージョンリアクションがなかった場合、生理食塩液500mLに溶解し、最初の1時間(50mL/hr)1～2時間(100mL/hr)2～3時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能
3回目以降	初回及び2回目投与時に最終速度が100mL/hr以上でインフュージョンリアクションが認められなかった場合、最初の1時間(100mL/hr)1～2時間(150mL/hr)以降(200mL/hr)まで増量可能

当院患者治療目的以外に使用しないでください

前投薬(ダラザレックス投与前日)	
モンテルカスト錠(10)1錠1×夕食後	
前投薬(ダラザレックス投与日)	
day1.15	レスタミンコーワ錠(10)4錠1×ダラザレックス投与1時間前
day1.15	モンテルカスト錠(10)1錠1×ダラザレックス投与1時間前
内服(ダラザレックス投与翌日)	
day2.16	デカドロン錠(4)5錠1×朝食後
内服(ダラザレックス投与がない週)	
day8.22	デカドロン錠(4)10錠2×朝昼食後